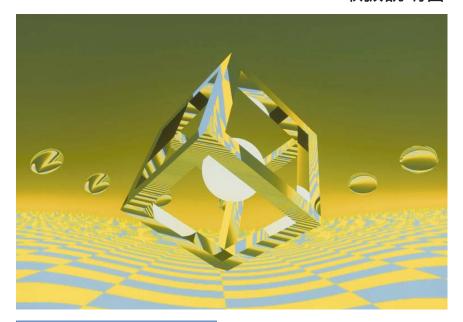
Panasonic

# SD-Jukebox ver2.4

# 取扱説明書

**SDオーディオプレーヤーで音楽を楽しむ前に**

必ずこの取扱説明書に従って、SDメモリーカードに音楽を入れてください。

Windowsの基本操作やコンピューター、周辺機器の取り扱いについては、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書とSDオーディオプレーヤーの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

**松下電器産業株式会社　　AVCネットワーク事業グループ**

〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号



RQT6355-S　　MS1001F1022

## 「SD-Jukebox」ご使用上のご注意

**「SD-Jukebox」はSDMI（Secure Digital Music Initiative）の規程に従い、著作権保護と音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。**

- 「SD-Jukebox」は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。
  暗号化された音楽データを別のフォルダやドライブ、他のコンピュータに移動／複写して使用することはできません。
- ご使用パソコンのプロセッサーならびにハードディスクの固有情報を暗号処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなります。
- 暗号化して記録された音楽データのバックアップ／リストア（復元）には専用の「SD-Jukeboxバックアップツール」が必要です。（☞ 52ページ）

- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接／間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## ユーザー登録のお願い

SD-Jukeboxのご使用に際して、必ずユーザー登録をしていただきますようお願いいたします。ユーザー登録は、商品サポート情報やバージョンアップ情報、新製品のお知らせ、またアフターサービスのためにも必要です。
付属の登録はがきをご返信いただくか、インターネットの所定のホームページ上で登録してください。

● インターネット上で登録するには、
① SD-Jukeboxを起動後、〈メイン画面〉で[インターネット]をクリックします。
② 表示されるホームページの画面の内容に従って入力します。

ホームページアドレス（ユーザー登録など）
**http://www.panasonic.co.jp/customer/audio**

## 最新情報について

付属のCD-ROMのReadme.txtファイルには、SD-Jukeboxについての最新情報が掲載されています。あわせてご覧ください。

# もくじ

## 準備



## すぐ使う



## さらに使いこなす



## 必要なときに

# 必要なシステム構成

SD-JukeboxV2.4をお使いいただくためには、以下のような性能を満たしたIBM PC/ATまたはその互換機が必要です。
（NEC PC-98シリーズおよびその互換機での動作は保証しません。また、Macintoshなどでは動作しません。）

**OS（日本語版）：Microsoft® Windows® 98/98 SE、Windows® 2000（Professional SP2）、Windows® Me、Windows® XP（Home Edition/Professional）**

Microsoft Windows 3.1/95、Windows NTでは動作しません。Windows 3.1/95からWindows 98/98SE、Windows 2000、Windows Me、Windows XPへのアップグレード環境での動作は保証しません。Dual CPU構成およびマルチブートのシステムでの動作は保証しません。
Windows 98/98SE、Windows MeからWindows XPへアップグレードする場合は、「アップグレードインストール（推奨）」を選択してください。「新規インストール」を選択すると、Windows XPへアップグレードする以前にSD-JukeboxV2.xで作成していた音楽データが使用できなくなります。

## ハードウェア

- CPU：Pentium® 233 MHz MMX 以上（Pentium® II 333 MHz以上推奨）
  Windows XPの場合：Pentium® II 333 MHz以上（Pentium® III 500 MHz以上推奨）
- メインメモリー：64 MB以上（Windows XPの場合：128 MB以上）
- ハードディスク：30 MB以上の空き容量（Windowsのバージョンや音楽データにより、別途空き容量が必要です。）
- ディスプレイ　：800 X 600ドット以上の解像度
  High Color（16ビット）以上に設定
- サウンドデバイス：Creative社Sound Blaster 16互換
- CD-ROMドライブ（インストールおよびCDの録音に必要）
  ：デジタル録音対応は必須で、4倍速以上を推奨
  （IEEE1394や USB で接続する CD-ROM ドライブなどでは、正常に録音できない場合があります。）
- USBポート（SDメモリーカードの接続に必要）
  （USBハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証しません。）
- インターネット音楽配信サービスを利用する場合は、インターネットへの接続環境

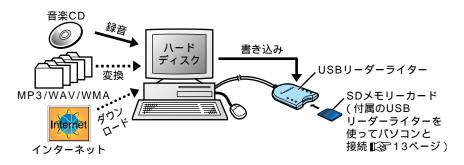
※1　推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※2　お客様が自作されたパソコンについては動作保証いたしません。

**Windows Me をお使いのお客様へ（☞ 58ページ）**

**SD-JukeboxV1.xをお使いのお客様へ（☞ 58ページ）**

# お使いになる前に

## こんなことができます

このSD-JukeboxV2.4は、音楽CDや音楽配信サービスから入手した音楽データをパソコンのハードディスクに録音したり、録音した曲をSDメモリーカードに書き込むためのソフトウェアです。
SDメモリーカードは、SDオーディオプレーヤーに入れて再生することができます。
また、SDオーディオレコーダーを使って音楽CDからSDメモリーカードに録音した曲をパソコンに移動させることもできます。

さらに、
- パソコン上で曲名や曲順などを編集したり、曲を再生したりできます。
- パソコンのハードディスクにあるMP3/WAV/WMAファイルを変換して、SDメモリーカードに書き込むことができます。
- CDDBのサイトに楽曲情報が登録されている場合は、音楽CDをかけるだけでアルバムタイトルなどの情報がダウンロードされます。

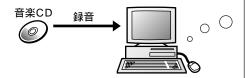
SD-Jukeboxで採用している著作権保護技術は、SDMI（Secure Digital Music Initiative）の取り決めに準拠しています。

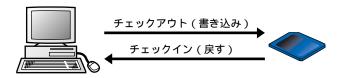
## 音楽配信サービスについて

インターネットの、音楽コンテンツの電子配信サービスを利用して、手軽に楽曲データを入手できます。（対応してる音楽配信サービスについては、SD-Jukeboxを起動後、<メイン画面>で[インターネット]をクリックして、表示されるホームページをご参照ください）
PHS電話を用いたドコモの音楽配信サービス「M-stage music」から携帯端末Picwalk P711mを使ってSDメモリーカードへダウンロードした音楽コンテンツにも対応しています。
音楽CDから入手したデータと同様に、SD-JukeboxV2.4を使って、パソコンのハードディスクに録音したり、録音した曲をSDメモリーカードに書き込んだりできます。パソコン上で曲順を編集したり、曲を再生したりもできます。

CDDBや音楽配信サービスをご利用になるにはインターネットへの接続環境の設定、および各サービスプロバイダーとの契約が別途必要です。

### Picwalk P711mを使ってダウンロードした音楽コンテンツをSDメモリーカードから取り込む

## 録音した曲はパソコン上で圧縮されます

「MPEG-2 AAC」形式に圧縮
↓
音楽データをハードディスクに保存
（この音楽データの集まりが「デフォルトプレイリスト」です。☞ 次ページ）

## パソコンとSDメモリーカード間のデータのやりとり

パソコンに録音した曲（圧縮された音楽データ）をSDメモリーカードに書き込むことを「チェックアウト」、またSDメモリーカードからパソコンに曲を戻すことを「チェックイン」と呼びます。
チェックアウトとチェックインは、自由にできるわけではありません。著作権保護のため、下記のような制限があります。

### チェックアウトは3回まで

- パソコンに録音した曲は、1曲に対して3回までSDメモリーカードにチェックアウトすることが許されています。
  このため、〈SDにチェックアウト画面〉では、録音した全曲（パソコンのデフォルトプレイリスト）の中からチェックアウト回数が1回以上残っている曲だけを表示します。
  3回チェックアウトしてしまった曲は表示されません。
- SDメモリーカードのデフォルトプレイリストから曲を削除するとその曲がパソコンにチェックインされます。
  チェックインすると、パソコン側でその曲の残りチェックアウト回数が増えます。
  チェックインしようとする音楽データが、パソコンのデフォルトプレイリストから削除されている場合はチェックインできません。

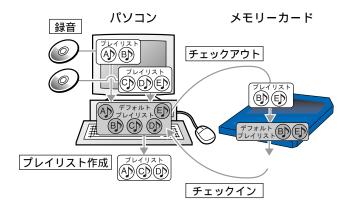
## プレイリストについて

プレイリストには、以下の2種類があります。

### デフォルトプレイリスト：（全曲リスト）

パソコンに録音（またはSDメモリーカードにチェックアウト）したすべての音楽データの集まりです。　デフォルトプレイリストから曲を削除した場合、音楽データそのものが削除されます。
（SDメモリーカードのデフォルトプレイリストから曲を削除した場合は、パソコンにチェックインされます。）

### プレイリスト

録音するとパソコンに（またはチェックアウトするとSDメモリーカードに）、プレイリストが自動的に作成されます。
また、録音やチェックアウトした後、デフォルトプレイリストや既にあるプレイリストの曲から、自分の好みの曲を選びアルバム（プレイリスト）を作ることもできます。

**お知らせ**

SDメモリーカードに書き込める最大プレイリスト数と曲数には制限があります。
- 最大プレイリスト数／99
- 1プレイリストあたりの最大曲数／99
- 1枚あたりの最大曲数／999

# インストールする

- アプリケーションソフト「SD-JukeboxV2.4」
- 「Media License Manager」
- 「USBリーダーライタードライバ」

ご使用の前に以下の手順にそってインストールしてください。

## ドライブのIDの確認方法

インストール手順の途中などでドライブのIDを指定する場合があります。パソコンの電源を入れ、Windowsを起動した後、次の方法であらかじめドライブを確認しておいてください。

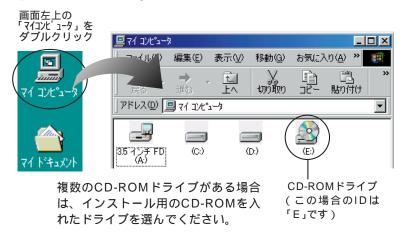
画面左上の「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」をダブルクリック

複数のCD-ROMドライブがある場合は、インストール用のCD-ROMを入れたドライブを選んでください。

CD-ROMドライブ（この場合のIDは「E」です）

次ページへ続く



もくじへ

# インストールする

## インストール手順

**❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する**

**❷ 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる**

CD-ROMを入れると、インストーラーが自動的に起動し、〈ようこそ画面〉が表示されます。
起動されない場合はファイル名を指定してインストールを実行してください。(☞ 次ページ)

**以降、画面の指示に従って操作してください。**

**❸ 〈インストールの完了画面〉で［完了］をクリックする**

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択していると、パソコンが自動的に再起動され、インストールが完了します。

次ページへ続く ▶



もくじへ

# インストールする

## インストーラーが自動的に起動されない場合

### Windowsのスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする

### 2 [※:\ setup.exe]を入力し、[OK]をクリックする

- インストールプログラムが始まります。
  以下、画面の指示に従って続けてください。
- ※はCD-ROMドライブのID（IDの確認方法 ☞ 9ページ）
- ここの文字入力は、大文字・小文字のどちらでもかまいません。

**お知らせ**

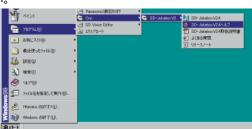
Windows XP環境にインストールする場合は、必ずコンピュータの管理者アカウントでおこなってください。

# オンラインヘルプの使いかた

録音やチェックアウトなどの基本操作の他に、この取扱説明書に記載されていない詳細な操作説明を表示できます。

## オンラインヘルプを表示させるには

下記のいずれかを行ってください。

- 「スタート」メニューで「プログラム」→「Cnc」→「SD-JukeboxV2」→「SD-JukeboxV2.4ヘルプ」の順にクリックする。
- SD JukeboxV2.4を起動した状態で、右上の［？］をクリックする。

## ヘルプの目次から検索するには

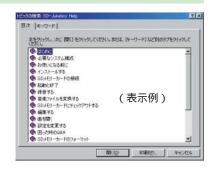
**1** **をダブルクリックする**

その中にある項目のタイトルが表示されます。

**2** **をダブルクリックする**

その項目の説明が表示されます。

**3** **[×]をクリックして終了させる**

（表示例）

## 「キーワード」で検索するには

**1** **「キーワード」タブをクリックする**

目次が消えて、キーワードの一覧が表示されます。

**2** **キーワードの一覧をスクロールして項目を選択するか、検索する語句を入力する**

**3** **[表示] をクリックする**

そのキーワードの説明が表示されます。

**4** **[×]をクリックして終了させる**

# SDメモリーカードの接続

SDメモリーカードに曲をチェックアウトするためには、付属のUSBリーダーライターをパソコンと接続する必要があります。

**お知らせ**

- 以下の場合、動作は保証しません。
  -1台のパソコンに2つ以上のUSBリーダーライターまたは他のUSB機器を接続している場合
  -USBリーダーライターと他のSDメモリーカード専用アダプターを接続している場合
  -USBハブおよびUSB延長ケーブルをお使いの場合
- ノートパソコンの場合、必ずACアダプターをお使いください。
  （操作の途中で電源が切れると、データが消えたりソフトウェアが正しく動作しなくなったりすることがあります）

## ❶ パソコンの電源を入れて、Windowsを起動する

## ❷ USBリーダーライターのコネクターをパソコンのUSBポートに挿入する

パソコンの
USBポートへ

USBリーダーライターを初めてパソコンに接続したときは、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。
自動的にUSBリーダーライターが使える状態になります。

Windowsのエクスプローラなどで、リムーバブルディスクとしてドライブが表示されていることを確認します。
（表示されない場合 ☞ 51ページ）

## ❸ SDメモリーカードの挿入方向を確認して、USBリーダーライターの挿入口に入れる

**お願い**

- SDメモリーカードを逆向きに入れると、USBリーダーライターの挿入口やカードが破損する場合があります。
- SDメモリーカードを抜く時は、USBリーダーライターのアクセスランプが消えていることを確認して、SDメモリーカードを抜いてください。

## USBリーダーライターについて

- 濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 高温になるところや直射日光の当たるところに置かないでください。
- 分解したり改造したりしないでください。
- 挿入口に異物が入らないようにしてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

**お知らせ**

USBリーダーライターの代わりに、PCカードスロットに接続するSDメモリーカード用PCカードアダプター（別売り）も使用できます。（品番：BN-SDAAP3）

### USBリーダーライターをWindows Meでお使いの場合

デバイスマネージャの［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］ー［USB 大容量記憶装置デバイス］のアイコンに緑色の「？」マークが表示されますが、動作上は問題ありません。そのまま使用してください。

もくじへ

## SDメモリーカードのデータを保護するため

SDメモリーカードの内部が破損したり、データが壊れたりして使えなくなる恐れがありますので、SD-Jukeboxが完全に起動するまでの間とUSBリーダーライターのアクセスランプ点灯中は以下のことをしないでください。

- SDメモリーカードおよびUSBリーダーライターの取り付け／取り外し
- SD-JukeboxやWindowsの強制終了
- パソコンの強制オフ（コンセントから電源コードを抜くなど）

チェックアウト後はSDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくことをおすすめします。新たにチェックアウトやチェックインするときは解除してください。（☞ SDオーディオプレーヤーの取扱説明書）

# 起動する

## ● デスクトップの  アイコンをダブルクリックする

〈タイトル画面〉

〈タイトル画面〉が表示された後、〈メイン画面〉が表示されます。

**お知らせ**

アイコンが表示されていない場合は、「スタート」メニューで「プログラム」→「Cnc」→「SD-JukeboxV2」→「SD-JukeboxV2.4」の順にクリックする。

**お願い**

SD-Jukeboxを起動しているときは、パソコンなど使用する機器の省電力機能をオフにしておくことをおすすめします。

# 終了する

## ● ［終了］をクリックする

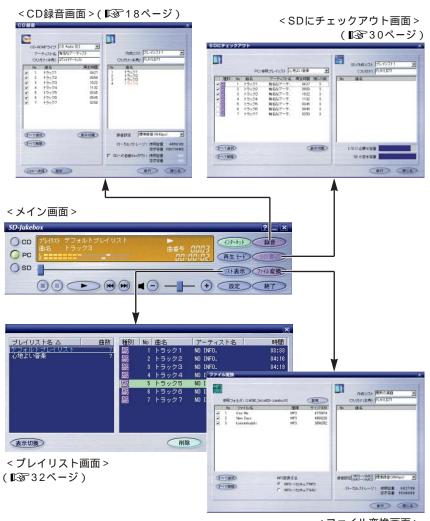
画面上の［×］ボタンをクリックしても終了できます。

# 主な画面

＜CD録音画面＞（☞18ページ）

＜SDにチェックアウト画面＞（☞30ページ）

＜メイン画面＞

＜プレイリスト画面＞（☞32ページ）

＜ファイル変換画面＞（☞21ページ）

# CDをパソコンに録音する

録音した後、自動的にＳＤメモリーカードにチェックアウトすることもできます。

## ❶ CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

CDをCD-ROMドライブに入れたとき、自動的に再生が始まった場合（CD EXTRAや自動再生機能を持ったアプリケーションなど）は、終了してください。終了しないと、SD-Jukeboxは使用できません。

## ❷ [CD]、[録音] の順にクリックする

〈メイン画面〉

〈CD録音画面〉が表示されます。

〈CD録音画面〉

パソコンに録音すると同時にSDにチェックアウトするときは「SDへの自動チェックアウト」をクリックします。

次ページへ続く ▶

## ③ 録音する曲のチェックボックスをクリックする

- 選択された曲には☑が付きます。
- すべての曲を録音するときは「すべて選択」をクリックします。
- 選択をやり直すときは「すべて解除」をクリックしてやり直してください。

## ④「作成リスト」「アーティスト名」「曲名」に名前をつける

- それぞれの欄に直接入力します。「曲名」はリスト内の曲名を反転表示させ上書きします。
- 後からパソコンでプレイリストの内容が確認できるように「作成リスト」欄には変更入力しておくことをおすすめします。
- 好みの名前をつけない場合、作成順、曲順のタイトルがつきます。
  アーティスト名は自動的にはつきません。
- ［フリガナ:半角］に入力した場合のみ名前表示機能のあるプレーヤー側で表示することができます。
- 入力できる文字数は、全角半角に関係なく30文字です。ただし、［フリガナ：半角］欄には60文字まで入力できます。

## ⑤ 録音音質を設定する

「録音設定」のプルダウンメニューから選択します。数字が大きいほど高音質ですがメモリーがたくさん必要になります。
高音質128 kbps（約64分)、標準96 kbps（約86分)、長時間64 kbps（約129分）…（　）は64 MBのSDメモリーカードの録音可能時間です。

**お知らせ**

- CDDBのサイトに楽曲情報が登録されている場合は、自動的にCDのデータが参照され、アルバムタイトル（作成リストに表示されます）と、アーティスト名や曲名情報がサイトからダウンロードされます。(☞ 55ページ)
  (音楽配信サービスをご利用になるにはインターネットへの接続環境の設定、および各サービスプロバイダーとの契約が別途必要です)
- CD TEXTに対応したCDを録音する場合はCDに記録されているアルバムタイトル、アーティスト名や曲名情報が自動的に引用されます。ただし、お使いのパソコンのCDドライブがCD TEXTに対応していることが必要です。

次ページへ続く ▶



もくじへ

# CDをパソコンに録音する

〈CD録音画面〉

お客様が入力されたり修正されたCD曲情報を、CDDBへ送信してサーバーに登録することができます。

## 6 「実行」をクリックする

- 〈録音中画面〉が表示され、録音が始まります。
- 現在、何曲目であるか、および録音に必要な残り時間が表示されています。
- 録音を途中でやめるには［中止］をクリックします。（曲の途中で中止した場合、その曲は録音されません。）

- すべての曲の録音が終わると〈録音完了画面〉が表示されますので、［OK］をクリックしてください。

**お 願 い**

録音中にCDの取り出しや、SDメモリーカードの抜き差しをしないでください。

**お知らせ**

CD-RおよびCD-RWからの録音は保証しません。

# 音楽データを変換する

ハードディスクに保存されているMP3、WMA、およびWAVの音楽データファイルをSDに書き込めるように変換します。

## ❶ [ファイル変換] をクリックする

〈メイン画面〉

〈ファイル変換画面〉が表示されます。

## ❷ [参照]をクリックする

〈ファイル変換画面〉

〈フォルダの参照画面〉が表示されます。

次ページへ続く ▶

## ❸ MP3やWAV、WMAファイルを保存しているフォルダを選択し、[OK] をクリックする

〈ファイル変換画面〉にファイル名が表示されます。

〈フォルダの参照画面〉

## ❹ 変換する曲のチェックボックスをクリックする

- 選択された曲には☑が付きます。
- すべての曲を変換するときは「すべて選択」をクリックします。
- 選択をやり直すときは「すべて解除」をクリックしてやり直してください。

〈ファイル変換画面〉

次ページへ続く



もくじへ

## ❺ 変換方法を選択する

WAVファイルは自動的にAACに変換されます。
MP3の場合は通常、「MP3→セキュアMP3」を選択してください。
お使いのSDオーディオプレーヤーに応じて、必要な場合は「MP3→セキュアAAC」を選択してください。（☞ 57ページ）
WMAの場合は、圧縮形式、サンプリング周波数、およびビットレートの変換はおこないません。

**お知らせ**

コンテンツ保護（著作権保護）されたWMAファイルはファイル変換できません。

## ❻ 「作成プレイリスト」に名前をつける

直接入力します。

## ❼ ［実行］をクリックする

- 〈ファイル変換中画面〉が表示され、変換が始まります。
- 現在、何曲目であるか、および変換に必要な残り時間が表示されています。
- 変換を途中でやめるには［中止］をクリックします。（曲の途中で中止した場合、その曲は変換されません。）

- すべての曲の変換が終わると〈ファイル変換完了画面〉が表示されますので、［OK］をクリックしてください。

# 音楽コンテンツをパソコンにダウンロードする

## ❶ SD-Jukeboxを起動する

## ❷〈メイン画面〉の［インターネット］ボタンをクリックする

＜メイン画面＞

あらかじめ設定されているホームページに接続され、音楽配信サービスについての最新情報が表示されます。

## ❸ 画面内容に従って音楽配信サービスに接続するボタンをクリックする

画面例：2002年2月27日現在

音楽配信サービスの操作画面が表示されます。

次ページへ続く ▶

**画面内容に従って音楽コンテンツをダウンロードする**

- 音楽コンテンツのダウンロード方法や課金の手続きに関しては各コンテンツプロバイダーの指示に従ってください。
- 手続き終了後は画面内容に従って、音楽コンテンツをダウンロードしてください。
- ダウンロードした音楽コンテンツに関する取扱は各コンテンツプロバイダーの取り決めに従います。ダウンロード時の注意事項をご確認の後、自己の責任においてご利用ください。

# Pictureの操作

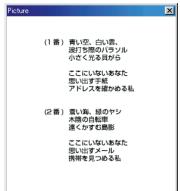
ダウンロードした音楽コンテンツにPictureとよばれる画面（歌詞カードや背景の写真などのクリップアート）が付属している場合は、音楽コンテンツが再生されるときに、そのPictureが表示されます。

## ● 複数の画面がある場合は、画面をクリックするたびに１枚ずつ切り替わります

（例：イメージ画像）

（例：歌詞カードの画像）

次ページへ続く

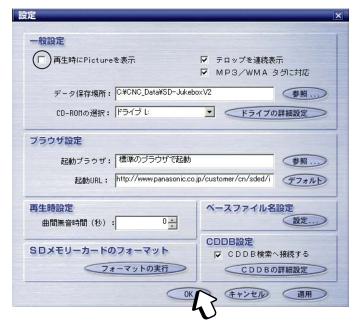
# Pictureの操作

## Picture表示を消すには

設定を変更してPicture表示を消すことができます。

### ❶ 〈メイン画面〉の[設定] をクリックする

＜メイン画面＞

### ❷ 「再生時にPictureを表示」をクリックし、チェックを消す

設定
一般設定
再生時にPictureを表示
テロップを連続表示
MP3／WMA タグに対応
データ保存場所： C:¥CNC_Data¥SD-JukeboxV2 参照...
CD-ROMの選択： ドライブ L: ドライブの詳細設定
ブラウザ設定
起動ブラウザ： 標準のブラウザで起動 参照...
起動URL： http://www.panasonic.co.jp/customer/cn/sded/i デフォルト
再生時設定
曲間無音時間（秒）： 0
ベースファイル名設定
設定...
SDメモリーカードのフォーマット
フォーマットの実行
CDDB設定
CDDB検索へ接続する
CDDBの詳細設定
OK キャンセル 適用

### ❸ [OK] をクリックする

# Picwalk P711mを使って音楽コンテンツを手に入れる

Picwalk P711mを使って音楽コンテンツをダウンロードしたSDメモリーカードから、その曲をパソコンに移動（Move）させることができます。
移動（Move）した曲はパソコン側のデフォルトプレイリストに追加され、チェックアウト回数がカウントされます。

**お知らせ**

- 音楽コンテンツの移動（Move）には専用のプラグインソフトが必要です。〈メイン画面〉の［インターネット］ボタンをクリックして、表示されるホームページから入手してお使いください。
- SDメモリーカードからパソコンに移動（Move）した曲は、SDメモリーカード上には残りません。

## ❶ Picwalk P711mを使って音楽コンテンツをダウンロードしたSDメモリーカードを、パソコンに接続する

## ❷ [SD] [リスト表示] の順にクリックする

## ❸ 一覧から「デフォルトプレイリスト」を選ぶ

## ❹ 曲をクリックして、[PCへ移動] をクリックする

## ❺ 〈Moveの確認画面〉で ［はい］ をクリックする

選択していた曲がパソコンに移動（Move）します。

# SDオーディオレコーダーで録音した音楽コンテンツを手に入れる

SDオーディオレコーダーを使って音楽CDからSDメモリーカードに録音した曲をパソコンに移動（Migrate）させることができます。
移動（Migrate）した曲はパソコン側のデフォルトプレイリストに追加され、チェックアウト回数がカウントされます。

**お知らせ**

- 音楽コンテンツの移動（Migrate）には専用のプラグインソフトが必要です。〈メイン画面〉の［インターネット］ボタンをクリックして、表示されるホームページから入手してお使いください。
- SDメモリーカードからパソコンに移動（Migrate）した曲は、SDメモリーカード上には残りません。

## ❶ SDオーディオレコーダーを使って音楽CDを録音したSDメモリーカードを、パソコンに接続する

## ❷ [SD] [リスト表示] の順にクリックする

## ❸ 一覧から「デフォルトプレイリスト」を選ぶ

## ❹ 曲をクリックして、［PCへ移動］をクリックする

## ❺ 〈Migrateの確認画面〉で［はい］をクリックする

選択していた曲がパソコンに移動（Migrate）します。

# SDメモリーカードにチェックアウトする

パソコン上にある曲の中から好みの曲を選んで、SD-Jukeboxを使ってSDメモリーカードにチェックアウトします。

## ❶ SDメモリーカードを接続する（☞13ページ）

## ❷ [PC]［SD書込］の順にクリックする

＜メイン画面＞

〈SDにチェックアウト画面〉が表示されます。

〈SDにチェックアウト画面〉

## ❸ チェックアウトしたい曲が入っているプレイリスト名を選択する

次ページへ続く ▶

## ❹ チェックアウトする曲のチェックボックスをクリックする

- 選択された曲には☑が付きます。
- すべての曲をチェックアウトするときは「すべて選択」をクリックします。
- 選択をやり直すときは「すべて解除」をクリックしてからやり直してください。

## ❺「作成リスト」に名前をつける

後から、プレイリストの内容が確認できるように変更入力しておくことをおすすめします。

## ❻「実行」をクリックする

- 〈チェックアウト中画面〉が表示され、チェックアウトが始まります。
- 現在、何曲目であるか、およびチェックアウトに必要な残り時間が表示されています。
- チェックアウトを途中でやめるには「中止」をクリックします。
  （曲の途中で中止した場合、その曲はチェックアウトされません。）

- すべての曲のチェックアウトが終わると〈チェックアウト完了画面〉が表示されますので、[OK]をクリックしてください。

**お願い**

〈SDにチェックアウト画面〉の表示中は、SDメモリーカードの抜き差しをしないでください。

# SDメモリーカードからパソコンにチェックインする

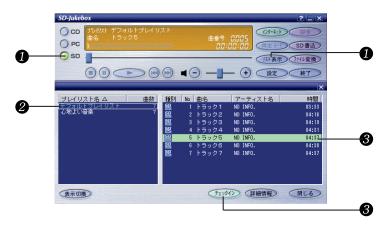
SDメモリーカードのデフォルトプレイリストから曲をチェックインするとその曲が、パソコンに戻り、パソコン側の残りチェックアウト回数が増えます。

**お知らせ**

- チェックアウトに使用したパソコンを使ってください。
- パソコンのデフォルトプレイリストから曲が削除されている場合は、チェックインできず音楽データそのものが削除されてしまいます。
- SDメモリーカードのプレイリストから削除した場合は、選曲から削除されるだけでチェックインしたことになりません。
- 複数のプレイリストで使用されている曲をチェックインすると、SDメモリーカードのすべてのプレイリストからその曲が削除されます。

## 1 [SD] [リスト表示] の順にクリックする

## 2 一覧から「デフォルトプレイリスト」を選ぶ

## 3 曲をクリックして、[チェックイン] をクリックする

## 4 〈チェックインの確認画面〉で [はい] をクリックする

選択していた曲がパソコンにチェックインされます。

## SDメモリーカード側のプレイリストを編集する

### プレイリストや曲を削除する（デフォルトプレイリストは削除できません）

1. ［SD］［リスト表示］の順にクリックする
2. 削除するプレイリストをクリックする
   - 曲を削除するときはさらに曲をクリックします。
   - 曲は複数選択できます。
3. ［削除］をクリックする

### 曲順を移動する（デフォルトプレイリストの内容は変わりません）

1. ［SD］［リスト表示］の順にクリックする
2. 編集したいプレイリストを選ぶ
3. 曲をドラッグアンドドロップして曲順を移動する

**お知らせ**

- SDメモリーカード側の曲名を変更するには、変更したい曲をチェックインした上で、パソコン側のデフォルトプレイリスト（またはプレイリスト）で曲名を変更してから再度チェックアウトしてください。
- パソコンのデフォルトプレイリストから曲を削除している場合は変更できません。
- パソコンにチェックインせずに、曲名変更後の曲をチェックアウトすることができますが、パソコン側の残りのチェックアウト回数が減ることになります。

# パソコン側のプレイリストを編集する

## ❶［PC］［リスト表示］の順にクリックする

## ❷ 編集したいプレイリストを選ぶ

以降は、各編集手順に従ってください。

### プレイリスト名を変更する（デフォルトプレイリストは変更できません）

**①「プレイリスト名」を右クリックする**

**②「プレイリストの名前を変更」をクリックする**

〈プレイリスト名編集画面〉が表示されます。

**③ 名前を入力して[OK]をクリックする**

### プレイリストを削除する（デフォルトプレイリストは削除できません）

**①「プレイリスト名」を右クリックする**

**②「プレイリストを削除」をクリックする**

〈プレイリスト画面〉の［削除］でも削除できます。

次ページへ続く ▶

# 編集する

## 曲名とアーティスト名を変更する

**① 変更したい曲を右クリックする**

**② 「曲情報の編集」をクリックする**

〈詳細情報画面〉が表示されます。

**③ 名前を入力して[OK]をクリックする**

## 曲を削除する

**① 削除したい曲を右クリックする**

**② 「曲を削除」をクリックする**

〈プレイリスト画面〉の［削除］でも削除できます。

**お知らせ**

デフォルトプレイリストから曲を削除すると、音楽データが削除されチェックインできなくなります。

## 曲順を移動する（デフォルトプレイリストの曲順は移動できません）

**● 移動したい曲をドラッグアンドドロップする**

# パソコンで聞く

ＣＤの曲や、パソコンに保存されている曲、ＳＤメモリーカード内の曲をこのソフトウェアを使って聞くことができます。

## ❶ [CD]、[PC]または［SD］をクリックし、[リスト表示] をクリックする

＜メイン画面＞

## ❷ 再生したいプレイリストを選択する

すべての曲を聞きたい場合は、[デフォルトプレイリスト]を選んでください。

## ❸ をクリックする

- 1曲目から再生が始まります。プレイリスト（またはCD）内のすべての曲の再生が終了すると、自動的に停止します。
- 再生したい曲をダブルクリックすると、その曲から再生が始まります。

次ページへ続く

# パソコンで聞く

**お 願 い**

CDやSDメモリーカードの再生中は、CDやSDメモリーカードを取り出したり、CD-ROMドライブのトレイを開けたりしないでください。

**お知らせ**

SDメモリーカード内の曲もAAC､MP3形式であればパソコンで再生することができます。
SDメモリーカード内のWMA形式の曲はパソコンで再生することはできません。

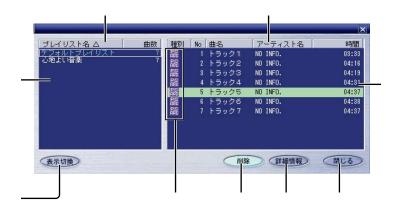
| 機能 | クリックするボタン |
|---|---|
| 一時停止する | 再生中に ⏸ （再生開始は ▶ ） |
| 停止する | 再生中に ■ （停止した後、1曲目に戻ります） |
| 曲の頭出し | ⏮ ：前曲頭出し　⏭ ：次曲頭出し |
| 早送りする | スライダーを右にドラッグ |
| 早戻しする | スライダーを左にドラッグ |
| 音量を調節する | − ：小さく　＋ ：大きく<br>（音量調節スライダーでも調節できます） |
| 再生モードを変更する | 再生モード （押すたびに以下のように表示が切り換わる）<br>表示なし（1曲目から順に聞く）<br>↓<br>1曲リピート<br>↓<br>全曲リピート<br>↓<br>ランダム →（表示なしに戻る）<br>再生中にモードを切り換えると再生が停止する場合があります。その場合は ▶ をクリックしてください。 |

# 画面各部のなまえとはたらき

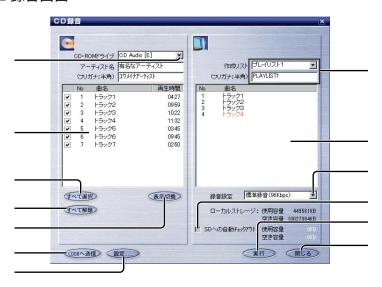
## ＜メイン画面＞

起動したとき、はじめに表示される画面です。

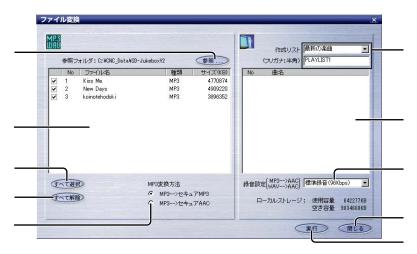
① メディアを選びます。
② 表示パネル：プレイリスト名、曲名、アーティスト名、再生モード、曲番号、
　　　　　　　　経過時間が表示されます。
③ 再生モードを切り換えます。
　　　　→表示なし→1曲リピート→全曲リピート→ランダム
④ インターネットに接続します。
⑤ 〈CD録音画面〉を表示します。
⑥ 〈SDにチェックアウト画面〉を表示します。
⑦ MP3、WAV、WMAの〈ファイル変換画面〉を表示します。
⑧ SD-Jukeboxを終了します。
⑨ 〈設定画面〉を表示します。
　再生ドライブの選択やデータの保存場所などの設定、SDメモリーカードの
　フォーマットなどを行います。再生中はクリックできません。
⑩ 〈プレイリスト画面〉を表示します。
⑪ 音量を調整します。
⑫ 前曲、次曲の頭出しをします。
⑬ 再生を始めます。
⑭ 再生を一時停止します。
⑮ 再生を止めます。
⑯ 早送り、早戻しをします。

## ＜プレイリスト画面＞

① プレイリストとそのプレイリスト内の曲数を表示します。プレイリストをダブルクリックすると、そのプレイリスト内の曲が③に表示されます。
② 項目欄をクリックしてリスト表示順を並べ替えます。
③ 曲名、アーティスト名、曲の再生時間を表示します。
曲をダブルクリックすると再生が始まります。
④ データ形式が表示されます。
⑤ プレイリストまたは曲を削除します。
⑥ 曲名や作成日、ファイルの保存場所など、曲に関する詳細情報を表示します。（右図）
⑦ ＜プレイリスト画面＞を閉じます。
⑧ 表示を切り換えます。

# 画面各部のなまえとはたらき

## ＜CD録音画面＞

① 録音するCDの入ったCD-ROMドライブを選択します。はじめは現在選択されているドライブを表示しています。
② CD上の曲をリスト表示します。曲名を直接入力できます。
③ 曲をすべて選択します。
④ 現在の選択状態をすべて解除します。
⑤ 「曲名」と「キョクメイ」が切り替わります。「キョクメイ」のときは曲名の「フリガナ：半角」が表示されます。
⑥ パソコン上に新たに作成するプレイリスト名を入力します。
⑦ 録音中の曲を赤で、録音終了した曲を黒で表示します。
⑧ 録音の音質を設定します。
⑨ パソコンに録音した後、自動的にSDへチェックアウトします。
⑩ 録音を始めます。
⑪ 画面を閉じます。
⑫ お客様が入力されたり修正されたCD曲情報を、CDDBへ送信してサーバーに登録することができます。
⑬ デフォルトで設定されるベースファイル名を設定します。

# 画面各部のなまえとはたらき

## ＜ファイル変換画面＞

① 変換したい音楽データ（ファイル）があるフォルダを選択します。
② 変換可能なＭＰ３、ＷＡＶ、ＷＭＡファイルのみを表示し、そのファイルサイズも表示します。
③ ファイルをすべて選択します。
④ 現在の選択状態をすべて解除します。
⑤ ＭＰ３の変換方法を設定します。
通常は「ＭＰ３→セキュアＭＰ３」を選択します。お使いのＳＤオーディオプレーヤーにより必要に応じて「ＭＰ３→セキュアＡＡＣ」を選択します。
⑥ 新たに作成するプレイリスト名を入力します。
⑦ 変換中の曲を赤で、変換終了した曲を黒で表示します。
⑧ 変換する曲の音質を設定します。
⑨ 変換を始めます。
⑩ 画面を閉じます。

## ＜SDにチェックアウト画面＞

① SDにチェックアウトしたいパソコン上のプレイリストを選択します。
② パソコン上のプレイリストの曲とSDメモリーカードへの残りチェックアウト回数を表示します。
③ 曲をすべて選択します。
④ 現在の選択状態をすべて解除します。
⑤ 「曲名」と「キョクメイ」が切り替わります。「キョクメイ」のときは曲名の「フリガナ：半角」が表示されます。
⑥ SD上に新たに作成するプレイリスト名を入力します。
⑦ チェックアウト中の曲を赤で、チェックアウトが終了した曲を黒で表示します。
⑧ チェックアウトを始めます。
⑨ 画面を閉じます。

# 画面各部のなまえとはたらき

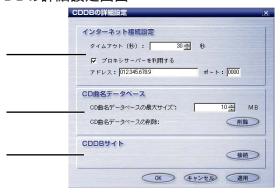
## ＜SDからPCへチェックイン画面＞

① ＳＤ内の曲を表示します。
② 曲をすべて選択します。
③ 現在の選択状態をすべて解除します。
④ それぞれのメモリー容量を表示します。
⑤ チェックインを始めます。
⑥ 画面を閉じます。

# 画面各部のなまえとはたらき

## ＜設定画面＞

① 様々な機能を設定します。
② CDDBや音楽配信機能を使うときに起動する、ブラウザとURLを設定します。
③ 曲間の無音時間を設定します。
④ SDメモリーカードをフォーマットします。
⑤ デフォルトで設定されるベースファイル名を設定します。
⑥ CDDBの機能を設定します。

## ＜CDDBの詳細設定画面＞

① インターネットへの接続設定をします。
② CD曲名データベースの設定をします。
③ CDDBのサイトに接続します。

# SDメモリーカードのフォーマット

フォーマットすると、SDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。

**お願い**

- フォーマットすると、SD-Jukeboxを使ってチェックアウトした曲以外でも消去されます。フォーマットする前に、必ずSDメモリーカードの内容を確認してください。
- 下記の方法以外でフォーマットしないでください。チェックアウトや再生ができなくなることがあります。
- フォーマットについての詳細は、付属のCD-ROMのReadme.txtファイルを参照してください。

**1 <メイン画面>の[設定]をクリックして、<設定画面>を表示する**

**2 [フォーマットの実行]をクリックする**

**3 <確認画面>が表示されたら、[はい]をクリックする**

フォーマットが始まります。

**4 <フォーマット完了画面>が表示されたら、[OK]をクリックする**

# アンインストールする

USBリーダーライターをはずしてからアンインストールをはじめてください。

## ❶ Windowsの「スタート」メニューで「設定」ー「コントロールパネル」の順にクリックする

## ❷「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする

〈アプリケーションの追加と削除のプロパティ画面〉が表示されます。

## ❸ [インストールと削除]タブをクリックする

## ❹ [SD-JukeboxV2]をクリックし、[追加と削除]をクリックする

〈ようこそ画面〉が表示されます。

## ❺ [OK] をクリックする

SD-JukeboxV2.4とUSBリーダーライタードライバが削除され、〈確認画面〉が表示されます。

## ❻ [完了] をクリックする

# 音楽データのバックアップ／リストア（復元）

お客様のパソコンに次のような状況が発生する前に音楽データのバックアップを行っておくとその音楽データの復元が可能になります。

・パソコン本体を交換するとき
・CPUやハードディスクを交換するとき
・OSを再インストールするとき
・OS機能の「システム復元」などで音楽データベースが壊れたとき
・OSの異常終了などで音楽データベースが壊れたとき

SD-Jukeboxは著作権保護のため音楽データを暗号化して保存しています。この暗号化されたデータのバックアップ／リストア（復元）には専用の「SD-Jukeboxバックアップツール」が必要です。

## ■ SD-Jukeboxバックアップツールの入手方法

以下のホームページにアクセスして入手してください。

http://www.panasonic.co.jp/customer/audio

# 困ったときのQ＆A

おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。その他、お使いのパソコンによる原因も考えられますので、お使いのパソコンの取扱説明書も参照してください。どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。
「スタート」メニューで「プログラム」→「Cnc」→「SD JukeboxV2」→「よくある質問」で表示される「faq.htm」ファイルも合わせて参照してください。

## ■ インストールおよび起動時

| こんなときは | ここをお調べください |
|---|---|
| インストールできない | • 付属のCD-ROMを入れていますか？<br>• CD-ROMドライブの指定は正しいですか？<br>• 「ユーザーの情報」でCD-ROMパッケージに表示されている番号を正確に入力しましたか？ |
| 起動できない | • ハードディスクにインストールしましたか？付属のCD-ROMからは直接起動できません。<br>• パソコンのメモリー容量は64 MB以上ありますか？（☞ 4ページ） |
| USBリーダーライタードライバーだけをインストールしたい | 付属のCD-ROM内の「driver」フォルダにあるReadme.txtファイルをお読みのうえ、その手順にしたがってインストールしてください。 |

## ■ パソコンに録音時

| こんなときは | ここをお調べください |
|---|---|
| 録音できない | • CDは損傷していませんか？<br>• 〈設定画面〉でCD-ROMドライブ（再生ドライブ）の選択が正しいか確認してください。<br>• パソコンのハードディスクに十分な空き容量がありますか？（☞ 4ページ） |
| ＜メイン画面＞で[CD]が選べない | パソコンにCDが正しく入っているか確認してください。 |
| CDが認識されない | パソコンにCDが正しく入っているか確認した上で、＜メイン画面＞の［CD］をクリックしてください。 |

# 困ったときのQ＆A

## ■ 再生操作時

SDオーディオプレーヤーでの再生については、SDオーディオプレーヤーの取扱説明書を参照してください。

| こんなときは | ここをお調べください |
| --- | --- |
| 再生できない | **CD**：CDが入っていますか？<br>CDが正しく入っている場合は、<メイン画面>の［CD］をクリックしてください。<br>**PC**：音楽データが入っていますか？ |
| 1曲目から再生できない | 再生モードがランダムになっていませんか？<br>再生モードは、<メイン画面>の表示パネルで確認してください。（☞ 37ページ） |
| 1曲（または全曲）が繰り返し再生される | 再生モードが1曲リピート（または全曲リピート）になっていませんか？再生モードは、<メイン画面>の表示パネルで確認してください。（☞ 37ページ） |
| 聞きたいプレイリストから再生できない | <メイン画面>の［リスト表示］をクリックして〈プレイリスト画面〉を表示させると、プレイリストを選ぶことができます。（☞ 36ページ） |
| 音が出ない<br>または大きくならない | • ⊕をクリックして音量を大きくしてください。<br>• パソコンの音量設定を確認してください。ソフトウェアで音量を大きくしても、パソコンの音量設定がゼロやミュートの場合、音は出ません。 |
| 音が悪い | 録音時に音質を下げて録音した可能性があります。「録音設定」で音質を変更して録音しなおしてください。（☞ 19ページ） |
| ボタンがクリックできない | 再生中は<メイン画面>の［設定］ボタンがクリックできません。 |
| ブツブツ音が出る | ご使用のCD-ROMドライブの特性によって、録音した音楽データやCD再生時に「ブツブツ」という雑音が発生する場合があります。オンラインヘルプを参照してください。 |
| CD TEXTの情報が出ない | お使いのパソコンのCDドライブがCD TEXTに対応している必要があります。 |

## ■ SDメモリーカードについて

SDメモリーカードをSDオーディオプレーヤーで再生できるか確認してください。再生できない場合は、SDメモリーカードが破損している場合があります。フォーマットすると使えるようになる可能性がありますが、SDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。

| こんなときは | ここをお調べください |
|---|---|
| 認識しない<br>または<br>〈メイン画面〉で[SD]が選べない | ・SDメモリーカードを付属のUSBリーダーライターに正しく入れているか確認してください。<br>・付属のUSBリーダーライターをパソコンに正しく接続しているか確認してください。<br>上の項目を実施してもSDメモリーカードが認識されない場合は、パソコンを再起動してみてください。 |
| 〈メイン画面〉の[SD]や[SD書込]、〈CD録音画面〉の「SDへの自動チェックアウト」が選べない | SDメモリーカードが認識されていない可能性があります。SDメモリーカードをパソコンに正しく接続していることを確認した上で、＜メイン画面＞の[SD]をクリックして、パソコンにSDメモリーカードを認識させてください。 |
| USBリーダー<br>ライターのドライブが表示されない | パソコンのIRQ（割り込みレベル）が競合している場合があります。<br>① Windows の「スタート」メニューから「設定」-「コントロールパネル」-「システム」をダブルクリックする。<br>② 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、不要なデバイスを使用不可にする。<br>③ USBリーダーライターを取り外し、パソコンを再起動する。<br>④ USBリーダーライターを接続する。 |
| チェックアウト<br>できない | ・著作権保護のため、SDメモリーカードへのチェックアウトは3回までです。（☞ 7ページ）<br>・SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？（☞ SDオーディオプレーヤーの取扱説明書参照） |
| SDメモリーカードに<br>空き容量があるのに<br>チェックアウト<br>できない | エクスプローラなどでデータを操作した可能性があります。SDメモリーカードをSD-Jukeboxでフォーマット（☞ 46ページ）すればチェックアウトできる状態になります。ただし、フォーマットするとデータは全て消去されますので、必要なデータは必ずあらかじめチェックインしておいてください。 |
| SDメモリーカードのフォーマット後、不具合が生じる<br>・USBリーダーライターのACCESSランプが消えない<br>・エラーメッセージが表示される<br>など | SD-Jukebox以外でカードをフォーマットした可能性があります。SD-Jukeboxを一度終了した後、カードを抜き差ししてください。 |

# 著作権保護に関する制限

- このソフトウェアをご使用いただく上では、SDMI（Secure Digital Music Initiative）の取り決めにより、著作権保護のための制限があります。
  - SDメモリーカードに関する制限。（☞ 2ページ）
  - コピー制限情報が埋め込まれている場合、またはDVDオーディオ機器を使用して録音した音楽データの場合は、取り扱えないことがあります。
  - 著作権者やサービス事業者が、音楽データの利用方法に関する条件を音楽データに付加している場合、この条件に従って操作する必要があります。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- SD-Jukeboxのアップグレードについて
  SD-Jukeboxは、SDMIに準拠して作られています。この取り決めが今後、変更されたり新しい取り決めになった場合は、SD-Jukeboxの一部の機能が使えなくなる場合があります。この場合、SD-Jukeboxをアップグレードさせていただく予定です。アップグレードは有償となる場合がありますが、ご了承ください。

# Windowsのエクスプローラに関する制限

- SDメモリーカードはパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラで外部ドライブ（Dドライブなど）として表示されます。
  エクスプローラを使って、SDメモリーカードの音楽データやフォルダーの移動、名前変更、削除、圧縮などをしないでください。音楽データが再生できなくなります。必ず、SD-Jukeboxで編集してください。
- パソコン内の音楽データやフォルダーも同様に削除、移動、名前の変更などはしないでください。

# SD-JukeboxV2.4ソフト・USBリーダーライタードライバソフト使用許諾書

本ソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっています。

**第1条　権利**
お客様は、本ソフトウェア（CD-ROM、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権もしくは知的財産権がお客様に移転するものではありません。

**第2条　第三者の使用**
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

**第3条　コピーの制限**
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

**第4条　使用コンピューター**
本ソフトウェアは、コンピューター1台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

**第5条　解析、変更または改造**
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

**第6条　アフターサービス**
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

**第7条　免責**
本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。

**第8条　輸出管理**
お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国および米国の輸出管理に関連する法規を遵守してください。

**第9条　その他**
上記第6条のアフターサービスには、ご愛用者登録が必要です。

# 本ソフトウェアに関するお問い合わせ先

本ソフトウェアのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

| 使いかた・お買い物などのご相談 |
|---|
| ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター |
| 電話　フリーダイヤル 0120-878-365 (パナは 365日)<br>FAX　フリーダイヤル 0120-878-236<br>365日／受付9時～20時 |
| **Help desk for foreign residents in Japan**<br>〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉<br>**Tokyo** (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787<br>Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays) |

● ホームページもご覧ください。
http://www.panasonic.co.jp/customer/audio

● お問い合わせいただく前に下記の内容をご確認ください。

| お使いのパソコンの機種名 | メーカー名：<br>機　種　名： |
|---|---|
| メモリー容量 | MB |
| ハードディスクの空き容量 | MB |
| インストールしているOS | □Windows 98/98SE　□Windows ME<br>□Windows（　　　　　　）<br>□その他（　　　　　　　　） |
| SD-Jukeboxのバージョン※ | SD-Jukebox　V_______ |
| パソコンに接続している周辺機器やボード | |
| 起動できない、音が出ないなどの症状とその頻度 | |

※ SD-Jukeboxのバージョンについて

バージョンの確認は、SD-Jukeboxを起動後、タスクトレイのSD-Jukeboxアイコンを右ボタンでクリックし、[SD-Jukeboxについて]を選んでください。

SD-Jukeboxアイコン

# さくいんと用語の説明

## A～Z


米Gracenote社が提供する、世界中のCDを検索するためのデータベースサービス。CDDBに対応したアプリケーションでCDを再生すると、自動的にCDDBからデータを参照してアーティスト名やタイトルなどの情報がダウンロードされます。


音楽用のCDに曲名などの文字情報を記録する規格。音声データの他に、半角文字を最大6000文字収録することができます。各国語に対応しており、日本語を使用することもできます。


「MPEG1 AUDIO Layer3」の略でMPEG1に採用されているオーディオ圧縮方式の１つ。MPEG1 AUDIOには、Layer1、Layer2、Layer3の3つの方式が規格化されており、Layer3の圧縮率が最も高く、インターネットなどで使われるようになっています。


MPEGは「Moving Picture Experts Group」の略でマルチメディア圧縮符号化を行っている組織が作成した標準規格。AACは「Advanced Audio Coding」の略でMPEG-2またはMPEG-4で採用されているオーディオ圧縮方式の１つ。この方式により、高圧縮率でしかも高品質の音楽再生が可能です。


「Secure Digital Music Initiative」の略でインターネットなどで音楽配信を行う際、安全に音楽を配布・販売できるようにフォーマットの確立を目指すプロジェクトの団体のことです。


著作権保護機能を内蔵したメモリーカード。データの転送速度が速く、コンパクトフラッシュよりも薄くて軽くて小さいのが特徴です。


WMAは「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

## あ



## か



## さ



次ページへ続く



もくじへ

# さくいんと用語の説明

## た



## は



## ま



## ら

# 対応するフォーマット

## 対応するフォーマット（ステレオのみ）

- 音楽CD：CD-DA、CD-EXTRA、CD TEXT
- MP3　：MPEG-1 layer3、MPEG2 layer3 low sampling frequency
  可変ビットレートに対応
- WMA　：Windows Media Audio　32/44.1/48 kHz、64～160 kbps
- WAV　：PCM 44.1 kHz 16ビット

## 変換対応表

| 入力形式（2チャンネル・ステレオのみ） ＼ 出力形式（2チャンネル・ステレオ） | | セキュアAAC 64 kbps 32 kHz | セキュアAAC 96 kbps 44.1 kHz | セキュアAAC 96 kbps 48 kHz | セキュアAAC 128kbps 44.1 kHz | セキュアAAC 128kbps 48 kHz | セキュアMP3 | セキュアWMA |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 音楽CD | CD-DA | ○ | ○ | × | ○ | × | × | × |
| | CD-EXTRA | ○ | ○ | × | ○ | × | × | × |
| MP3 | 16/22.05/24 kHz 32 kbps～192 kbps | × | × | × | × | × | ○ | × |
| | 32 kHz 32 kbps～192 kbps | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| | 44.1 kHz 32 kbps～192 kbps | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| | 48 kHz 32 kbps～192 kbps | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × |
| WMA | 32 / 44.1/ 48 kHz 64 kbps～160 kbps | × | × | × | × | × | × | ○ |
| WAV | 44.1 kHz / 172 KB/秒 | ○ | ○ | × | ○ | × | × | × |

MP3→セキュアMP3変換、およびWMA→セキュアWMA変換ではサンプリング周波数、ビットレートの変換はおこないません。

# お知らせ

## Windows Me® をお使いのお客様へ

SD-JukeboxV2.4を使用後にパソコンの電源を切る時には、あらかじめ、タスクトレイの［ハードウェアの取り外し］アイコンを左クリックして［USBディスクードライブ（※:）の停止］を選択しておいてください。選択しておかないと、パソコンの電源が正常にオフできないことがあります。

## SD-JukeboxV1.xをお使いのお客様へ

### A Microsoft® Windows® 98、Windows®98 SE、Windows® Me、の環境でお使いの場合

SD-JukeboxV1.xで作成された音楽データはV2.4ではご使用になれません。V1.xで作成された音楽データをご使用になる場合は、SD-Jukebox V1.xでご使用ください。
(V2.4インストール後もV1.xはそのままご使用いただけます)

### B Windows® XP（Home Edition/Professional）の環境でお使いの場合

SD-JukeboxV1.xはこの環境ではご使用できません。
詳しくはホームページをご覧ください。
**http://www.panasonic.co.jp/customer/audio**

- 本製品、およびパソコンの不具合により、録音ができない場合や音楽データが破損した場合などのデータの補償についてはご容赦ください。
- 本製品、および本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書では、OSがWindows 98SEのときに表示される操作画面例を使用しています。また、本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

- SDロゴは商標です。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS / SOLANA / 4C.
- Microsoftとそのロゴ、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Windows Media、Windowsロゴは米国その他の国で米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。
- Pentium、MMXは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- Sound Blaster 16 は、米国クリエイティブ·テクノロジー社の商標です。
- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- CDDBはGracenoteの登録商標です。
- Music recognition technology and related data are provided by Gracenote and the Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠.
  Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information go to www.gracenote.com.

  Gracenote is CDDB, Inc. d/b/a "Gracenote." CD and music related data from Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠ © 2000, 2001 Gracenote. Gracenote CDDB Client Software © 2000, 2001 Gracenote. U.S. Patents Numbers #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, and other patents issued or pending.
  CDDB is a registered trademark of Gracenote. CDDB-Enabled, the Gracenote logo, the CDDB Logo, and the "Powered by Gracenote CDDB" logo are trademarks of Gracenote. Music Recognition Service and MRS are service marks of Gracenote.
- M-stage musicとPicwalkはNTTドコモの商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

RQT6355-S
MS1001F1022